

## 地区防災計画の策定に向けて

仏生寺地区の居住区域のほぼ全域が、富山県から土砂災害警戒区域、又は特別警戒区域に指定されています。このため、日頃から万が一の災害等に備えておくことが重要です。先の東日本大震災では、地域の絆の大切さや自発的な自助・共助による防災活動の重要性が認識されており、この教訓なども踏まえ、今年度、地区の特性に応じた地区防災計画の策定に取り組んでいます。



▲検討会の様子

地区防災計画は、昨年度実施した防災マップ・福祉マップ作成会で出された意見やこれまでの防災に関する取り組みを反映した内容としています。完成した計画は、「仏生寺地区防災・生活便利帳」として全世帯に配布する予定です。

## おらっっちゃ創生支援事業提案発表会

仏生寺地域づくり協議会は、防災・減災活動の充実を図る取り組みとして、10月14日（土）に行われた、平成29年度おらっっちゃ創生支援事業第4回選定委員会に、「仏生寺地区防災計画作成及び防災備品整備事業」を提案発表しました。

屋敷会長、根山副会長、西尾事務局長が、地域づくり計画に基づいた取り組みについて説明し、下記のとおり申請が認められました。



▲発表会の様子

申請事業名	仏生寺地区防災計画作成及び防災備品整備事業
補助事業名	小規模多機能のまちづくり提案事業
交付決定額	991,000円
事業内容	①地区防災計画の作成 ・ 仏生寺地区防災計画を作成し、仏生寺地区防災計画自主防災会役員に配布する。 ・ 仏生寺地区防災・生活便利帳を作成し、仏生寺地区の全戸に配布する。 ②防災備品の整備 災害が発生した場合、行政等の支援を受けることが出来るまでの目安3日間の避難所生活を想定し、非常用電源及び照明、避難所室内テント(プライベートルーム・ファミリールーム)を整備する。

### おらっっちゃ創生支援事業とは・・・

氷見市の地方創生の実現に向けて、豊かで住みよい個性あるふるさとづくりを推進するため、自治会や団体等における自主的・主体的に積極的な参加で実施される事業について支援するものです。



## 仏生寺地区防災訓練実施

11月5日(日)、仏生寺地区で防災訓練を実施しました。昨今、熊本地震や九州北部豪雨等、多くの災害が発生しています。仏生寺地区の居住区域のほぼ全域が土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されており他人事ではありません。

今回の訓練では、仏生寺地区に大雨特別警報の発表があり、市から避難勧告が出されたことを想定し、十三中学校へ避難する訓練を実施しました。当日は、175名の参加があり、十三中学校体育館内に設置された防災に関する5つの体験コーナーを巡りながら、防災に関する知識や理解を深めました。



▲防災訓練の様子

### ファミリールーム・プライベートルーム体験コーナー



▲ファミリールーム



▲プライベートルーム

災害時、屋内での集団避難生活では、想像以上にストレスがかかります。最低限度のプライバシーを確保できる空間を確保するため、仏生寺地域づくり協議会では、市のおらっちゃ創生支援事業を活用し、ファミリールーム10式とプライベートルーム2式を購入しました。この室内用テントは、仮設救護、健康相談、授乳、着替え等、多様な用途に活用します。

### ダンボールベット体験コーナー

避難所生活が長引いた場合、体育館の床に直接寝ていると健康上の問題(ホコリの吸引やエコノミー症候群など)が懸念されます。簡単に手に入るダンボールを活用したベットは、これらを改善するだけでなく、足腰の負担を和らげ、寝起きが楽になるといった効果や防寒効果もあるようです。今回の訓練では、ハトムギ茶のダンボールを利用し、床の上に直接寝た場合との体感を比較してもらいました。



▲ダンボールベット体験の様子

### 非常食試食コーナー

災害時の非常食として、かつてはカンパン等が主流でしたが、近年さまざまな非常食が販売されています。その中でも味に定評があるのが、アルファ米です。熱湯や水を注げば、簡単にご飯ができてあがりやすくなります。

当日は、粳穀でできた燃料「モミガライト」を燃やして、お湯を沸かし、熱湯を注いで約15分でアルファ米を用いたわかめご飯(50食分)が簡単にできました。



▲アルファ米の調理の様子

### AED訓練・簡易担架コーナー

林防災指導員や消防分団の協力のもと、AED使用手順を体験しました。

万が一、心臓が停止した人が、そこに居合わせたとき、救急車が到着するまでに、AEDを適切に使用することができれば、救命率が高まるといわれております。また、2本の棒と毛布を活用した簡易担架の作り方も学びました。



▲AED訓練の様子



### 非常用電源・照明操作コーナー

災害時によってライフラインが寸断された場合、電気が復旧するまでの間、電化製品、照明、トイレ等が一切使えないという事態になってしまいます。

仏生寺地域づくり協議会では、市のおらっちゃ創生支援事業を活用し、非常用電源、LED投光機、防雨型ドラムをそれぞれ2台ずつ購入しました。非常用電源、LED投光機は、昨年度も2台購入しましたが、体育館の照明等に必要非常用電源が不足すること

に気づき、今年度も2台購入しました。当日は、非常用電源の操作や、LED投光機の明るさなどを参加者に体感していただきました。



▲非常用電源・照明操作の様子



## 大町市から仏生寺に視察

9月22日（金）、氷見市と姉妹都市である長野県大町市から、大町市連合自治会及び自主防災会連絡会の27名が仏生寺公民館クラブハウスを訪れ、仏生寺地域づくり協議会の「住民主体の防災・減災の取り組み」を視察しました。

屋敷会長、西尾事務局長が視察の対応にあたり、これまで取り組んできた「いのちのバトン兼安否確認・避難支援登録シート」の設置や防災マップ作りなどの取り組みについて説明しました。仏生寺での視察を終えた一行は、その後、氷見市役所にて氷見市自治振興委員連合会との意見交換を行いました。



▲視察の様子

## 富山県議会自民党議員との意見交換会



▲意見交換会の様子

11月10日（金）、氷見市役所において、自由民主党富山県議会議員中山間地域振興対策本部の県議20人、氷見市から林市長と各部長、民間から屋敷会長ら5名の中山間地域の活動者が出席して、中山間地域振興について意見交換会がありました。



## 仏生寺地区住民交流カローリング大会

11月12日（日）、仏生寺地区住民交流カローリング大会が旧仏生寺小学校体育館で開催されました。29チーム、約100名の住民が参加し、世代を超えた交流が図られました。

白熱した戦いが繰り広げられ、審判長が判定する場面も多かった今大会では、1ゲームで27点を獲得した上中・吉池Aチームが2勝をあげ初優勝しました。

【大会結果】

《優勝》上中・吉池A 《次勝》銚根B 《三位》鞍骨B

【主催】仏生寺公民館

【共催】仏生寺地域づくり協議会・仏生寺自治振興委員会 【主管】仏生寺社会体育推進協議会



▲大会の様子

### ★ボランティア大募集★

仏生寺地区地域づくり協議会では、外出支援（車の運転又はその助手）、広報編集・発行のボランティアを募集します。活動日数は年に数回の予定です。

【問い合わせ】屋敷（TEL91-6467）又は西尾（TEL91-6651）